

議事録

会議名	近畿本部生物工学部会 設立総会及び記念講演会
日時	2022年10月22日(土) 15時～17時
場所	近畿本部会議室(大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館ビル2F)
出席者 (敬称略)	《現地》河野、山口、須永、伊東、坊垣、飯塚、島田、北川(経営工学)、中村、木村(記) 《WEB》東田、佐野、柿谷、坂口、西八條、久保、山本、石谷、堤 総計19名
内容	<p><u>総会次第:</u></p> <p>1. 設立挨拶/設立経緯説明(河野氏)</p> <p>2. 総会議長選出 満場一致により河野氏が選出された。</p> <p>3. 設立発起幹事紹介/幹事会名簿案 幹事候補5名の自己紹介後に、幹事会名簿案が承認された。 (部会長)河野氏 (副部会長)須永氏 (幹事長)山口氏 (会計)伊東氏 (幹事)木村</p> <p>4. 会則案説明と内容討議(山口) 公益社団法人日本技術士会近畿本部生物工学部会会則案を読み上げた後に質疑応答を行った。 ・第3条(4): 講演及び研修会については、外部の方に講演してもらうこともあるでしょう。その場合の報酬はどうするのか。 ⇒予算の範囲内で報酬を支払う。参加者から費用を徴取することはない。 ・第16条(議決): 念のためにWEB参加も出席とみなす旨を記載しては？ ⇒その旨条文に追記する。 ・第17条(議事録): 「所要記録媒体」としては何を考えているか？ ⇒まずは「部会だより」から。更に、近畿本部のホームページの生物工学部会のページに議事録を保存する予定。 ・第22条(会計・会計監査役): ボランティアであることを記載しては？ ⇒その旨追記する。</p> <p>上記の内容を反映させることを条件に会則案は承認された。</p> <p>5. 令和4年度活動方針討議 ・今後の活動予定は、①2022年11～12月: セミナーと技術交流会(講師: 須永氏、テーマ: バイオテクノロジーとDX)②2023年1月: 新年会③2023年2月: 第1次試験合格者顔合わせ会 ⇒第1次試験合格者顔合わせ会の2月開催は発表日の関係上難しい ・セミナーと技術交流会の日時の設定は？ ⇒基本的に土曜日開催(2Hr程度)</p> <p><u>記念講演会:</u> 講演者: 東田氏(日本技術士会生物工学部会部会長) 司会: 伊東氏 講演タイトル: 「IPD時代の到来を見据えた部会の役割」</p>



講演要約:

IPD (Initial Professional Development; 初期専門能力開発)とは、「修習技術者が技術士になるために、修習技術者として身につけるべき初歩的な資質能力の獲得を目指す、自身の行動」である(技術士法には規定はない)。IPD活動指針案が最近策定されたが、現実的に機能するIPDシステムとなるためには、IPD活動者(修習技術者)とIPD支援者(指導技術士)双方のメリットがあることが必要である。

ご祝辞:佐野氏

佐野氏からご祝辞を頂いた。日本生物工学会が設立されて 100 周年を迎え、その記念の年に近畿本部に生物工学部会が設立されたことは喜ばしい。近畿本部内に生物工学部会を設立するに至った道のりを記録し、例会等でその道のりを報告してほしい。

閉会の挨拶:河野氏

近畿本部本部長の田岡氏からの祝辞を読み上げた。